

「我が国の今日の平和と繁栄には 憲法9条が大きな役割を果たしてきた」



今こそ9条を生かした平和外交を

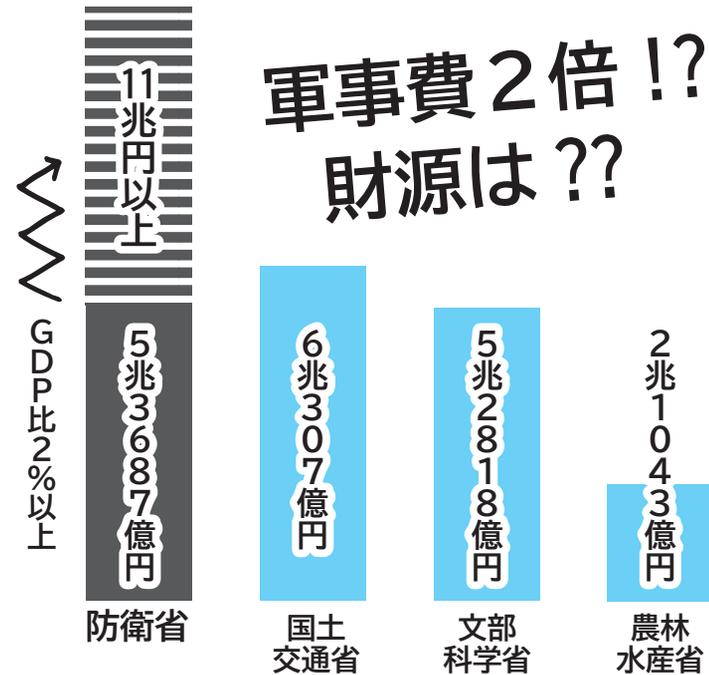
軍事費の増大は 暮らしを押しつぶす

ウクライナ危機に乘じ、自民党や公明党、維新の会などから軍事費の増額や「敵基地攻撃能力」の保有など、大軍拡と憲法改悪の大合唱が起っています。

岸田首相はアメリカに軍事費の「相当な増額」を約束し、GDP(国内総生産)比2%以上を念頭に「5年以内の防衛力の抜本的強化」を閣議決定しました。

その財源は社会保障の削減か消費税増税か、いずれにしても暮らしは押しつぶされてしまいます。

日本共産党市議団は6月議会で、「軍事拡大の中止を国に強く要望せよ」と市長に求めました。



防衛省の予算は今でも農林水産省や文部科学省を上回ります。GDP比2%=現在の2倍の大軍拡は、国の財政、地方自治体、市民生活にも大きな影響を及ぼします。

9条改憲は戦争への道

日本が攻撃されていないのに、アメリカが戦争を始めれば、安保法制の集団的自衛権によって自衛隊が米軍と一緒に相手国を「敵基地攻撃能力」で攻め込む。報復を受け、日本に戦火が及ぶ。ここに、日本が直面する最大の危険があります。

日本共産党は「専守防衛を投げ捨て、戦争できる国になることが9条改憲の狙い」と指摘し、国への抗議を市長に求めました。

市長は「我が国の今日の平和と繁栄には憲法9条が大きな役割を果たしてきたとの考えに変わりはない」と明言しました。

戦争させないための 外交に知恵と力を

東南アジア諸国連合(ASEAN)は友好協力条約を結び、あらゆる問題を話し合いで解決する努力を重ね、平和の地域共同体をつくりあげています。

ASEANを中心に、日本やアメリカ、中国など18カ国が参加する「東アジアサミット」が毎年開かれており、東アジア規模の友好協力条約を展望する構想も提起されています。

日本政府がすべきことは軍拡や軍事同盟の強化ではなく、東アジアサミットという平和の枠組みを活用・発展させることです。

戦争させないために、憲法9条を生かした平和外交に知恵と力を尽くすことこそ政治の役割です。

期日前投票ができます

場所	期間	時間
市役所1階市民ホール	6月23日(木)~7月9日(土)	8時30分~20時
松永、北部、東部、神辺、鞆、内海、沼隈、芦田、加茂、新市支所	7月4日(月)~7月9日(土)	
山野ふれあいプラザ	7月6日(水)~7月7日(木)	
フジグラン神辺1階ふれあい通り	7月4日(月)~7月9日(土)	10時~20時

投票はがきがなくても、身分証で本人確認して投票できます

2022参院選
7月10日投票

日本共産党

議員団ニュース

発行 日本共産党福山市議会議員団
福山市津之郷町津之郷 970-1



高木たけし
①084-972-6830



河村ひろ子
①084-965-6049



みよし剛史
①090-1182-3973

病气やけが、高齢などで、文字を書くのが難しい場合、投票所の係員による代理投票ができます。点字投票もできます。

出典：令和4年度一般会計歳入歳出概算(令和3年12月24日閣議決定)小池晃議員質問資料